

MSOL Digital

Digital事業の概要説明

DX

■ デジタルトランスフォーメーションの取り組みが進む中、危機感の浸透、人材の「スキル／ノウハウの不足」が推進の課題

デジタルトランスフォーメーションの取り組み状況

約8割 デジタルトランスフォーメーションに取り組んでいる

4割の企業がDXによる変革
サービス創出に取り組み
6割が既存領域にまだ注力

組織マインドの抜本的な変革

新サービスの創出

47%

27%

ビジネスモデルの変革

38%

生産性向上

78%

既存サービスの高付加価値

56%

出典：独立行政法人情報処理推進機構
「デジタル・トランスフォーメーション推進人材の機能と役割のあり方に関する調査」
(2019年5月17日) をもとに当社作成

デジタルトランスフォーメーションを推進する上での自社の課題(Top5)

将来への危機感が、企業全体に浸透しない

43%

ビジネスや組織の変革に対する社内の抵抗感が強い

37%

DXを担う能力のある人材が、社内では育成できない

34%

DXを実現するうえでの、ITリテラシーが不十分

26%

DXを推進するための既存の情報システムの改修負担が大きい

23%

企業の3～5割が
危機感、抵抗、人材
についての課題を認識

0% 20% 40% 60% 80% 100%

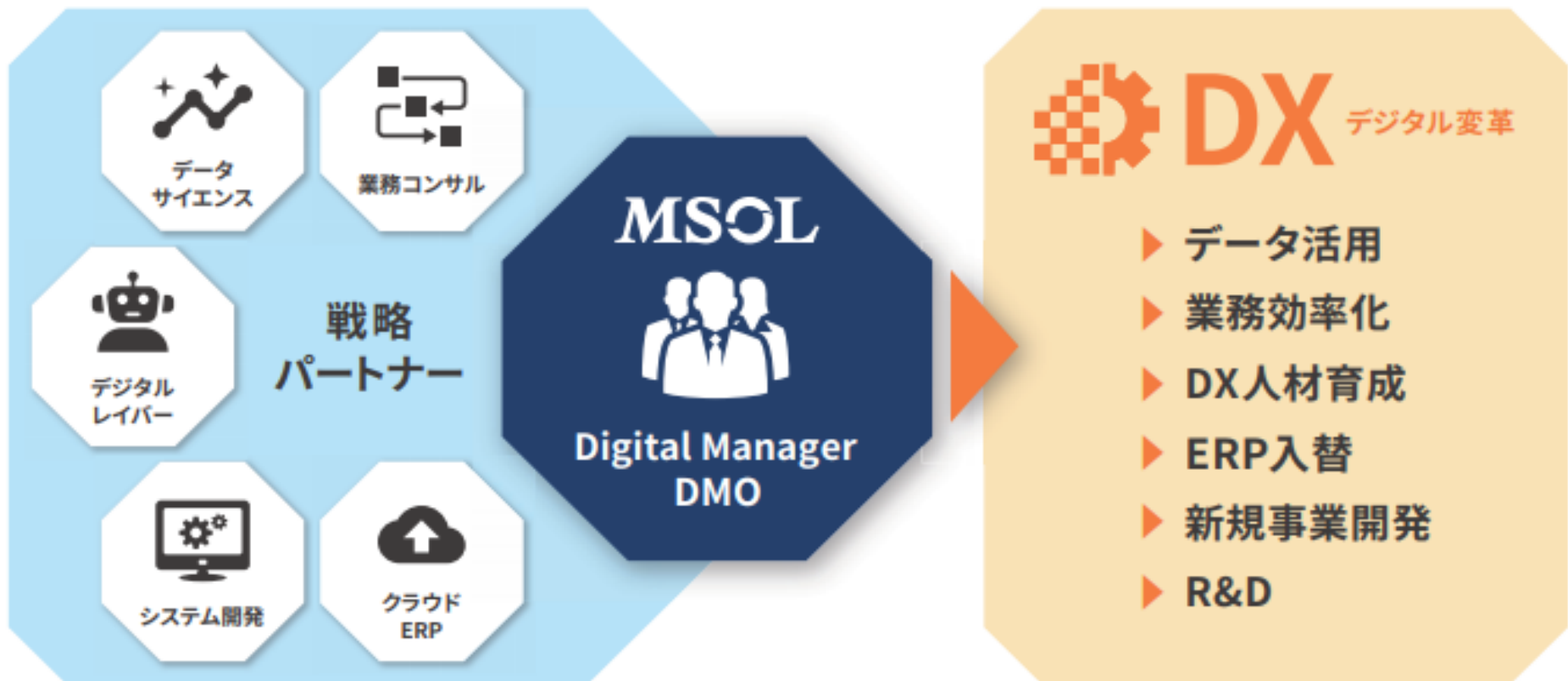
n=92

出典：独立行政法人情報処理推進機構
「デジタル・トランスフォーメーション推進人材の機能と役割のあり方に関する調査」
(2019年5月17日) をもとに当社作成

弊社の 17 年に及ぶ大手ユーザ企業への IT・DX 関連プロジェクトの PMO サービスで培った IT・Digital 分野での経験、知見、パートナーシップを基に 2019 年 11 月から Digital 事業部を発足し、ビジネススタート。

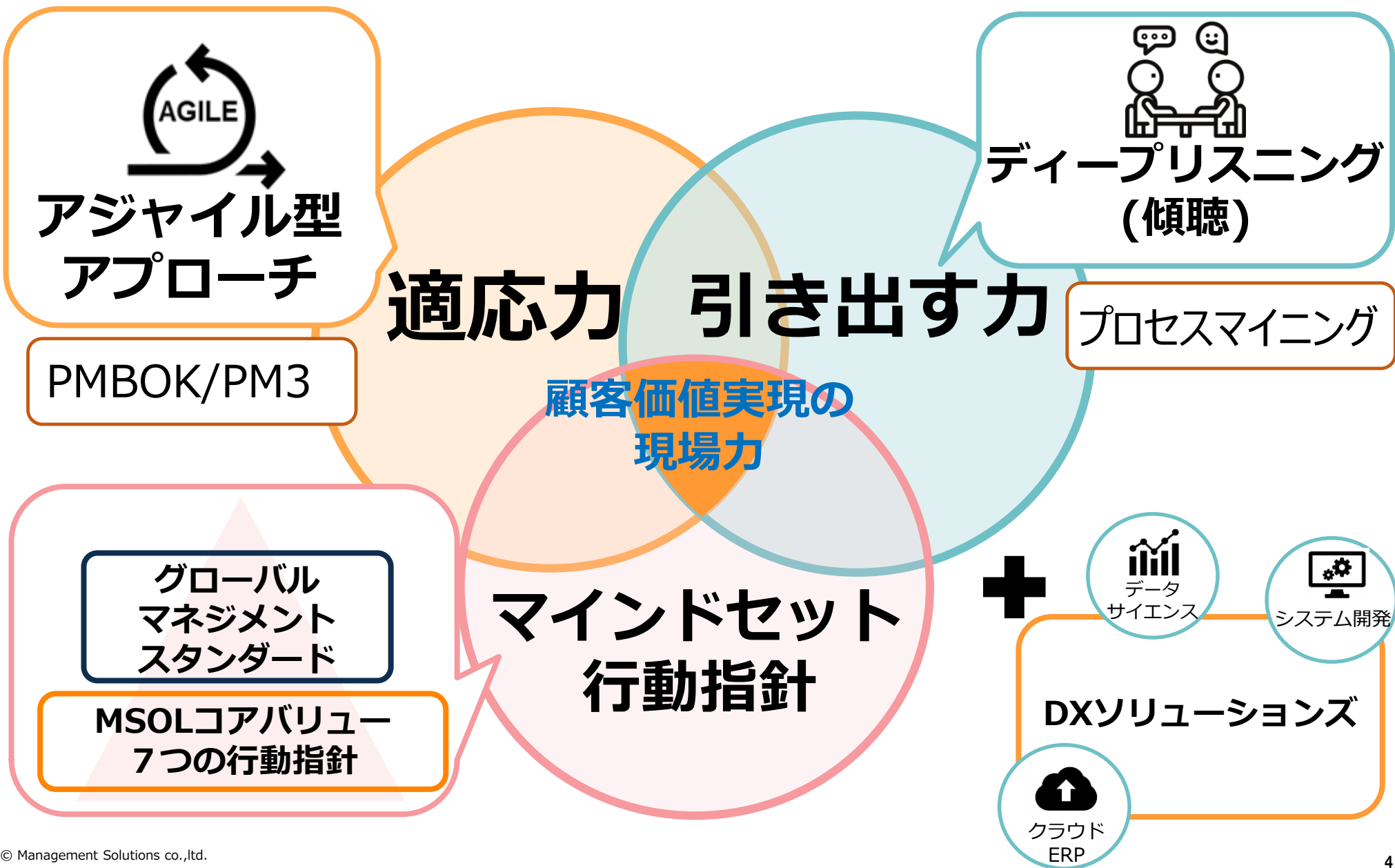
DMO (Digital Management Office) 人材による顧客DX支援を事業化

先端ITソリューションパートナーと連携による顧客ニーズに沿ったソリューション提供



顧客DXを「テクノロジー x マネジメント」により支援するDMO





MSOL Digital ソリューションマップ

DX の内製化を支援します。



アジャイル PM

アジャイル研修
コーチング
監査・定着支援



ディープリスニングソリューション

プロセスマイニング支援
ナレッジシェアリング支援
RPA 導入
テレワーク導入



データサイエンスソリューション

AI 研修
予測系 AI / 認識系 AI
会話系 AI / 実行系 AI
データアノテーション



新規事業立ち上げ & PoC 支援

アイディエーション
PoC



ウォーターフォール型開発

要件定義支援 / 業務設計支援
移行設計支援 / テスト計画実行支援
システム運用設計支援



ERP 移行・運用

SAP ByD 導入コンサル・SI
SAP HANA 導入アセスメント



クラウド移行・運用

システム監査
クラウド移行・運用



リスク&コスト削減支援

間接材コスト削減
セキュリティ診断・CISO代行

ITガバナンス・マネジメント実行支援 (CIO 支援サービス)

01

アジャイル導入

- － アジャイル研修・コーチング・定着化支援
To 大手インフラ系企業, 大手Sierなど
- － 仮想通貨サービス開発導入支援
To 大手リサーチコンサルティング
- － アジャイル&DevOps導入支援
To 大手金融系企業
- － アジャイル&業務改善支援
To 大手金融系企業

02

業務見える化・改善推進

- － 社内事業管理プロセス分析改善支援
To 大手自動車メーカー子会社
To 大手物流系企業
To 大手コンサルティング会社

03

新規事業企画

- － アイディエーション・ワークショップ支援
To 大手インフラ系企業IT子会社
To 大手ファシリティサービス企業
- － 新規モビリティサービス企画支援
To モビリティNWサービス会社

04

DXソリューション導入

- － DXソリューションPOC、導入定着化支援
To 大手情報通信Sier（大手建設会社）
To 大手小売りサービス業
To 大手エネルギー系企業

05

システム開発運用支援

- － 基幹システム再構築支援（WF型開発統合支援）
ex) システム運用設計/統括支援、情報分析導入支援、
システムリスク管理導入支援、RPA導入/内製化支援
To 大手流通小売業
- － Web系、モバイル系アプリ開発支援
To 大手流通小売業開発センター
- － 生産管理システム再構築実行計画策定支援
（ERP導入支援）
To 大手製造業

06

ITガバナンス・マネジメント推進

- － 基幹システム再構築・業務改革の
実行計画策定と実行支援
To 大手商社食品子会社



MSOL Digital

アジャイルPM 導入

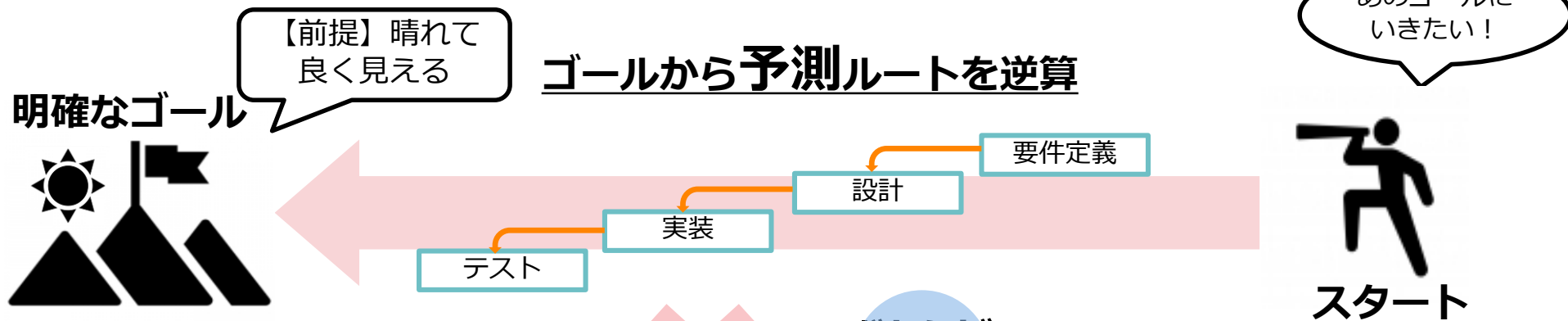
アジャイル研修

コーチング

監査・定着支援

予測型アプローチと適応型アプローチの違い

・ 予測型アプローチ(ウォーターフォール)

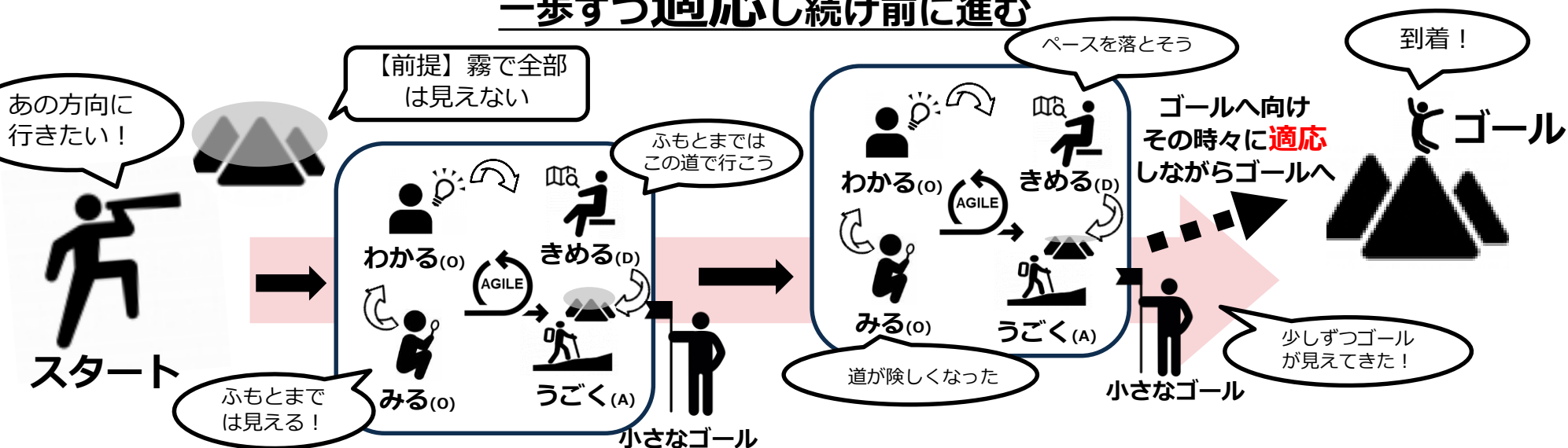


・ 適応型アプローチ(アジャイル)

一歩ずつ適応し続け前に進む

どちらが
向いているか

DXにおいては適応型が
向いていることが多い



3つの支援とその相乗効果で 効果的な支援を提供します

チーム運用支援

- ① アジャイルコーチ
- ② アジャイルプロセス改善支援
- ③ チーム立ち上げ支援
- ④ スクラムマスター代行
etc.

10年以上にわたる豊富なアジャイル開発実践経験者のノウハウを浸透させたアジャイルスペシャリスト陣にて、教科書的ではない実践的なサポートを実施いたします。あるべき論だけではなく、どうしたらお客様が実効的な成果を上げられるかという視点でご支援し、その結果が必ずしも純粋なアジャイルを続けることではなかったとしても、躊躇なく実効的な選択肢をご提案いたします。

組織適用支援

- ① 組織への導入・定着
- ② ACoE(アジャイルセンターオブエクセレンス)
※ PMBOK®におけるアジャイル向けPMO
- ③ スタートアップガイドライン
作成支援
etc.

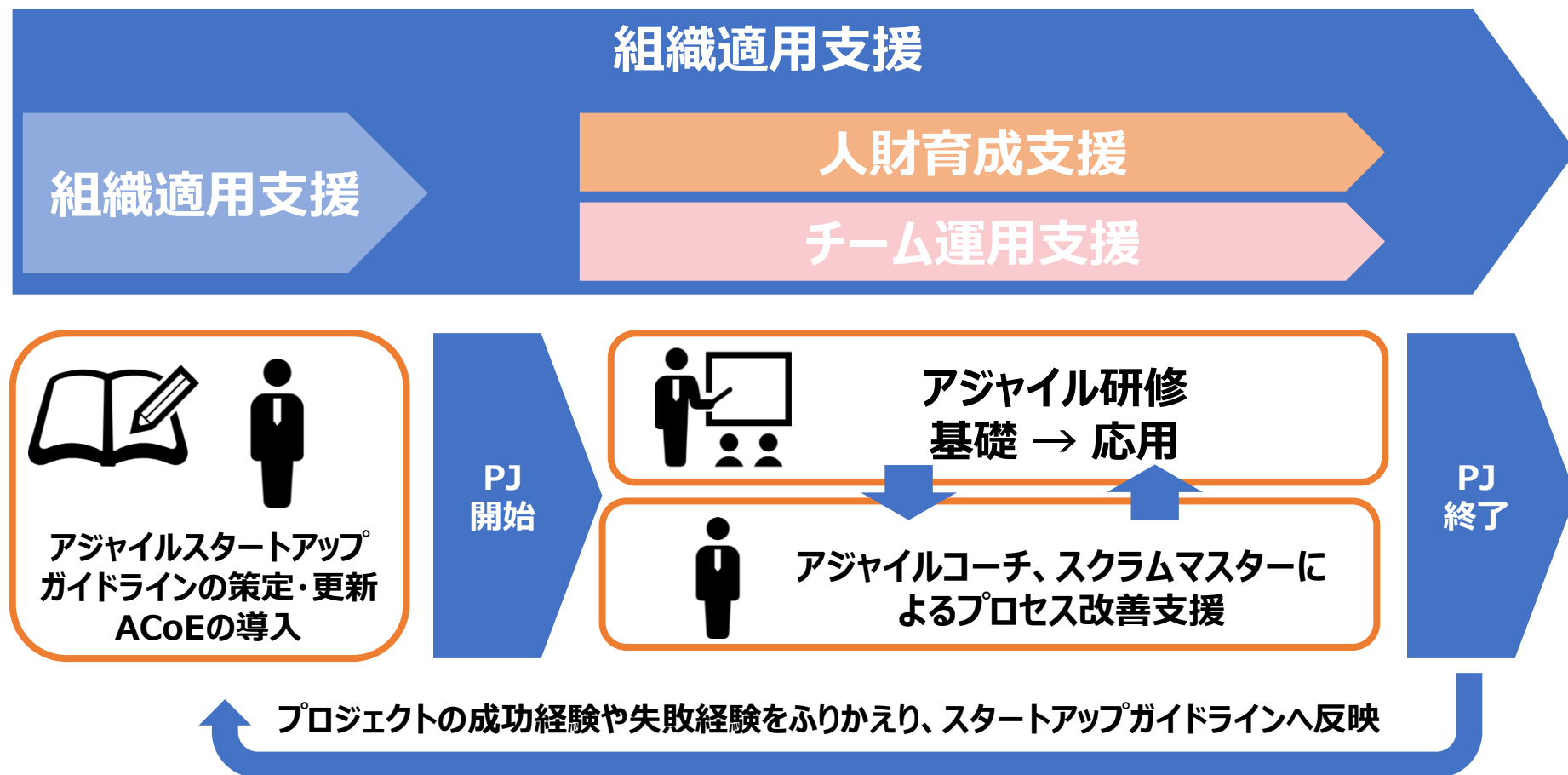
ディシプリンド・アジャイル (DA) をベース

一つのフレームワークや、やり方に拘らず、自分たちの特性に合わせて選択して使うためのハイブリッドツールキットです。全てのプロジェクトは独自性がありユニークです。であればScrum、XP、SAFe、LeSS等多数あるアジャイルのフレームワークやプラクティス等の中から自分たちのプロジェクトを成功するための最適なものを選択し適応することが肝要です。MSOLではこの考え方で、お客様の組織の特性にあった最適な解を一緒に考え、作り上げていく実行支援をさせていただきます。

人財育成支援

- ① 基礎研修コース
これからアジャイルを始める方に
- ② 応用研修コース
既にアジャイルを実践している方に

【基礎】 いまさら聞けないアジャイルの実際～最新動向とともに～【2hr】
【基礎】 PMBOK®第7版の大転換とアジャイル～プロセス重視から原則重視へ～【1.5hr】
【基礎】 PMBOK®第7版 基礎研修～大転換の意図と全体概要～【2.5hr】
【基礎】 アジャイルマインドとアジャイルの実践基礎【1day】
【応用】 マネジメント視点でみたプロダクトオーナーのお仕事【1day】
【応用】 マネジメント視点でみたスクラムマスターのお仕事【1day】
【応用】 マネジメント視点でみた開発チームのお仕事【1day】（開発中）
【応用】 アジャイルでも使えるモダン開発技法【4hr】



以下の研修コースを用意しています

レベル	タイトル	時間
基礎	いまさら聞けないアジャイルの実際～最新動向とともに～	2時間
基礎	PMBOK®第7版の大転換とアジャイル ～プロセス重視から原則重視へ～	1.5時間
基礎	PMBOK®第7版 基礎研修 ～大転換の意図と全体概要～	2.5時間
基礎	アジャイルマインドとアジャイルの実践基礎	8時間(終日)
応用	マネジメント視点でみたプロダクトオーナーのお仕事	8時間(終日)
応用	マネジメント視点でみたスクラムマスターのお仕事	8時間(終日)
応用	マネジメント視点でみた開発チームのお仕事(開発中)	8時間(終日)
応用	アジャイルでも使えるモダン開発技法	4時間

【4時間以下の研修の場合】

- ◆ オンサイト開催の場合
 - ◆ 原則御社で会場をご用意ください
 - ◆ 会場に収容できる人数であれば制限はございません
- ◆ リモート開催の場合
 - ◆ 人数に制限はございません
 - ◆ 原則御社で配信環境をご用意いただきます
 - ◆ ご用意できない場合は、応相談

【8時間(終日)研修の場合】

- ◆ 研修時間は9:00-18:00が基本です
 - 実質8時間分の時間を確保できれば、開始時間、終了時間は調整可能です。
- ◆ オンサイト開催／リモート開催どちらでも可能ですが、1回あたりの最大受講生数が異なります。(演習の実施効果を担保するため)
 - オンサイト開催 最大24名迄
 - ✓ リアルでの集合研修
 - リモート開催 最大15名迄
 - ✓ Zoomによるリモート研修。ブレイクアウトルーム利用。

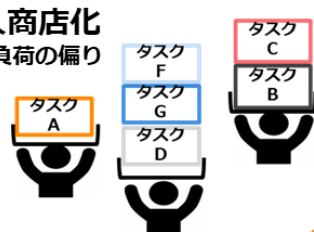
よくあるプロダクト開発PJが対象ではなく、システム運用部門の業務改善を目的としたアジャイル（DevOps）の導入・定着をコーチ&コンサルタントとして支援

Before

要件リストがカオス状態
残タスク > 終了タスクに



個人商店化
作業負荷の偏り



スキルの
属人化



Action



アジャイル型
アプローチ
(DevOps)の適応

週次で要件リストの整理・見直し

個人成果→チーム成果へ



週次でナレッジの蓄積・共有



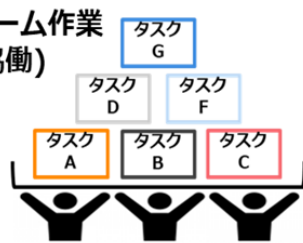
After

要件リストの整理化
残タスク < 終了タスクに



プロダクト
バックログ化

チーム作業
(協働)



属人化の
解消



企画立案段階（3か月間）から参画し、その後8か月間で**お客様自身で自走**できるところまで到達した

【実績紹介】直近2年のアジャイルコーチ・コンサル実績一覧

No.	実施時期	案件	お客様	タイプ	備考
1	2020/1-6月	自社サービス開発アジャイルコーチ	大手SIer A	アジャイルコーチ + アジャイルコンサル（チーム体制変更）	複数チーム体制 + 複数拠点
2	2020/2-3月	受託開発向けアジャイルコーチ	大手SIer A	アジャイルコーチ	
3	2020/6-11月	受託開発向けアジャイルコーチ	大手SIer A	アジャイルコーチ + チーム立ち上げ	完全リモート支援
4	2020/10- 2021/8月	DevOps化支援	大手金融系グループシステム子会社	アジャイルコンサル（アジャイル導入支援） + アジャイルコーチ	前ページの 事例紹介案件
5	2021/1-2月	受託開発アジャイルプロジェクト診断	大手SIer B	アジャイルプロジェクト診断	完全リモート支援
6	2021/2-4月	情報システム部組織診断	大手金融系ITサービス提供会社	その他（業務診断+改善提案）	
7	2021/4-12月	自社サービス開発アジャイルコーチ	大手エネルギー会社	アジャイルコーチ+アジャイル研修	1チーム体制から2チーム体制 への スケーリング支援
8	2021/6-9月	インフラ開発アジャイルコーチ	大手SIer C	アジャイルコンサル+アジャイルコーチ	完全リモート支援
9	2021/11-2月	アジャイルスタートアップガイドライン策定	大手エネルギー会社	アジャイルコンサル(ガイドライン策定支援)	
10	2022/1~継続中	インフラ保守アジャイルコーチ	大手SIer C	アジャイル研修+アジャイルコンサル + アジャイルコーチ	複数(5チーム)同時対応
11	2022/4~継続中	自社サービス開発アジャイルコーチ	大手エネルギー会社	アジャイルコーチ+アジャイル研修	

 アジャイルコーチ
 アジャイルコンサル

【実績紹介】直近2年のアジャイル研修実績一覧

No.	実施時期	案件	お客様	備考
1	2020/3月	マネジメント視点でみたプロダクトオーナーのお仕事	大手自動車系情報子会社	
2	2021/1月	アジャイルマインドとアジャイルの実践基礎	大手金融系グループシステム子会社	
3	2021/4月	マネジメント視点でみたプロダクトオーナーのお仕事	大手グローバル会社	
4	2021/5月	マネジメント視点でみたプロダクトオーナーのお仕事	大手エネルギー会社	
5	2021/5月	アジャイルマインドとアジャイルの実践基礎	大手Sier C	
6	2021/8-9月	アジャイルマインドとアジャイルの実践基礎	大手Sier C	
7	2022/2月	アジャイルマインドとアジャイルの実践基礎	大手Sier C	
8	2022/2月	アジャイルマインドとアジャイルの実践基礎	大手電機系情報子会社	
9	2022/2月	PMBOK®第7版の大転換とアジャイル	IPA 独立行政法人 情報処理推進機構	
10	2022/2月	PMBOK®第7版の大転換とアジャイル	一般社団法人	
11	2022/2月	PMBOK®第7版の大転換とアジャイル	大手Sier D	2回実施
12	2022/2月	いまさら聞けないアジャイルの実際～最新動向とともに～	大手流通会社	
13	2022/3月	いまさら聞けないアジャイルの実際～最新動向とともに～	大手重工業会社	
14	2022/3月	PMBOK®第7版の大転換とアジャイル	大手電気通信会社	
15	2022/3月	アジャイルマインドとアジャイルの実践基礎	大手重工業会社	
16	2022/3月	いまさら聞けないアジャイルの実際～最新動向とともに～	大手電機メーカー	
17	2022/4月	PMBOK®第7版の大転換とアジャイル	大手インフラ会社	
18	2022/4月	マネジメント視点でみたスクラムマスターのお仕事	大手電機系情報子会社	



MSOL Digital

ディープリスニングソリューション

プロセスマイニング

ナレッジシェアリング

RPA 導入

テレワーク導入

「共感的理解」のコミュニケーション技法を用いることで、現場担当者との信頼関係を作り、必要な情報を聞き出す手法。特に課題点や現状の問題を共有することが容易となる

話し手の客観的状況や意味合いを正確に把握することで、話し手の信頼を増し、心情的な理解が正確になる



話し手と信頼関係を構築し、話し手の情緒が安定することで、情報を網羅的・中立的に収集でき、理解が深まる

PMOを通じた効率的な理解力

過去の実績から導かれたテンプレートおよびとりまとめの方法論

独自の「聞き上手」方法論に基づく信頼関係構築および情報収集の技法

ディープリスニングによるDX推進プロセス

インタビュー実施

ディープリスニング
インタビュー実施

可視化

現状の可視化

課題把握の壁

課題・TOBEの
可視化

ツールありきの壁

改革実行 & 組織変革

研修・OJT

リソース/
スキルの壁

施策構築
推進支援

抵抗勢力の壁

信頼関係構築



業務を明確にまとめる一方で、それだけにとどまらず現状の課題感を整理してまとめることが可能

IMAGE

プロセス一覧表イメージ（請求書発行業務の場合）＊実際の納品成果物はより詳細に記述

業務分類	タスク	業務概要	工数／月	担当			システム	インプット	アウトプット	コメント	マニュアル有無・課題
				営業	営業支援課長	営業支援課担当					
請求書発行	作成	...	30h		A	R	CRM Sys	納品報告	請求書ドラフト	納品報告が行われない場合があり、そのチェックに時間をかけている	マニュアルがなく、現場で数をこなしてなれるしかない
	内容確認	...	100h	C	R／A	R	CRM Sys	請求書ドラフト	請求書	顧客からの記載要望に応えるために大変な手間が発生している。また業務が多いため一部課長が実施している	顧客によって用語の定義などが違うため確認に時間がかかる
	PDF保管	...	50h		A	R	ドキュメント管理	請求書	請求書PDF	単純作業だが手間がかかる	マニュアル整備済みのため、手間はかかるがアルバイトでも実施可能
	送付	...	30h	I	A	R	N/A	請求書	請求書（印刷物）	毎日発送しており、効率が悪い	同上
	...										

影響の大きい業務から対応を実施可能

RACIフレームワークにより担当範囲が明確で対応を各部署で考えやすい

プロセス上の改善・システム面の問題等を現場の声として拾うことが可能

教育・引継ぎのための課題や業務効率化の可能性を検討可能

IMAGE



業務プロセスごとに改善機会を導出し、インパクトを予測。3－5年後の企業規模の拡大による想定工数に基づいた効果測定により、「正しい」ROI 算出が可能に

IMAGE

業務プロセス	課題	工数／月			解決策	改善機会				
		現状	比例定数	3年後工数		業務のオンライン化 ペーパーレス	業務プロセス自動化	業務プロセス効率化	マニュアル化 ナレッジシェアリング	ジョブ型・成果型 評価制度／人材配置最適化
請求書発行	納品報告が行われない場合があり、そのチェックに時間をかけている	30 H	請求書件数 ≒売上	60 H	納品書送付と同時にシステムから自動で営業に連絡する仕組みの導入		◎			
	顧客からの記載要望に応えるために大変な手間が発生している。また業務が多いため一部課長が実施している	200 H	請求書件数 ≒売上	400 H	- 社内システムの修正による顧客要望に対応したデータ整備 - 業務再配置			◎		◎
	P D F 化作業が単純作業だが手間がかかる	50 H	請求書件数 ≒売上	100 H	ドキュメントの最終化と同時に自動で P D F 化し格納する		◎			
決算処理	社内からの問い合わせ対応が多い	80 H	従業員数	240 H	- F A Q の整備 - 決算処理に関する研修の実施 - 現場社員の評価対象として明確化	◎			◎	◎

担当者レベルしか把握していない問題が明確に

企業規模の拡大による業務量の変化も明確になり、事前対応の効果が明確化

施策の効果が明確になった状態でオプションの比較が可能に

過去の主な導入事例

自動車系メーカー 業務改善プロジェクト

- 8部署15人にインタビュー
- プロセス／課題と真因分析、改善案・個別プロジェクト計画まで策定
- 期間:3ヶ月

大手流通企業 DX戦略策定プロジェクト

- 6部署12人にインタビュー
- 現状整理と課題抽出・TOBE全体像の構築
- 期間:2ヶ月

コンサルティング企業 業務改善プロジェクト

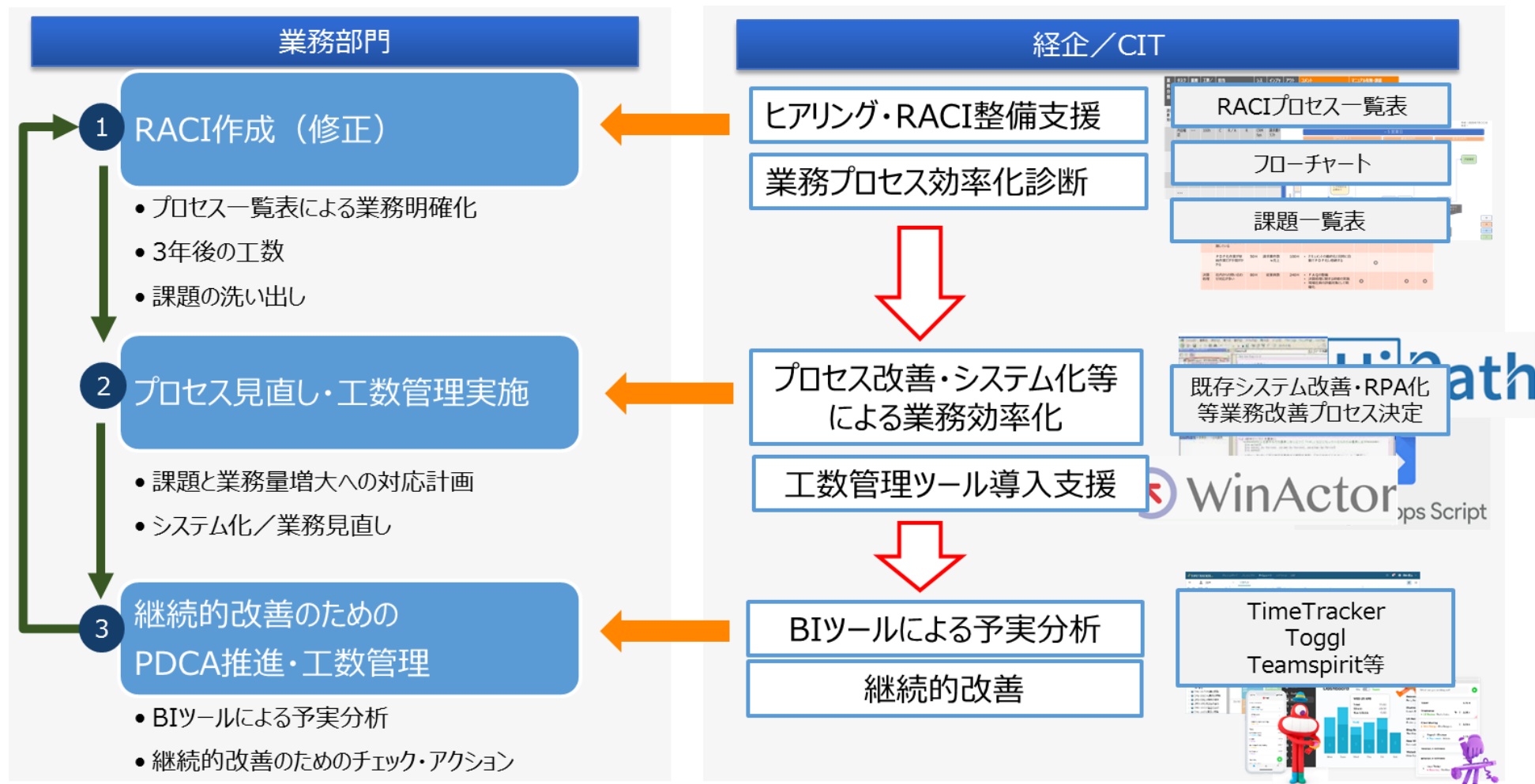
- バックオフィス5部署6人にインタビュー
- プロセス／課題と改善案まで策定
- 期間:2ヶ月

大手物流企業 PMIプロジェクト

- 4部署15人にインタビュー
- プロセス／課題と改善案まで策定
- 期間:1ヶ月

【実績紹介】社内DX推進(RACIプロジェクト)

ディープリスニングを用いたコーポレートプロセス管理・改善



RACIチャートとディープリスニングによって 「見える化」された課題に対してそれぞれ施策を実行

Before

契約管理の書類の
整理に数十時間/月
かけている
ことが判明



複数のプロジェクトを
任せたい社員の
運用工数が7割も
あったことが判明



変動する
パラメータに応じた
人員計画立案まで
出来ていなかった



Action

電子契約システムの
導入を企画導入



担当の見直し
一部業務のRPA化



BIツールでパラメータ
に応じた人員計画の策定



After

契約管理工数
7割削減！！

運用工数**3割削減！**
プロジェクトへ
アサイン！

人員計画に応じて
継続的改善が可能に！
結果的に工数削減へ！



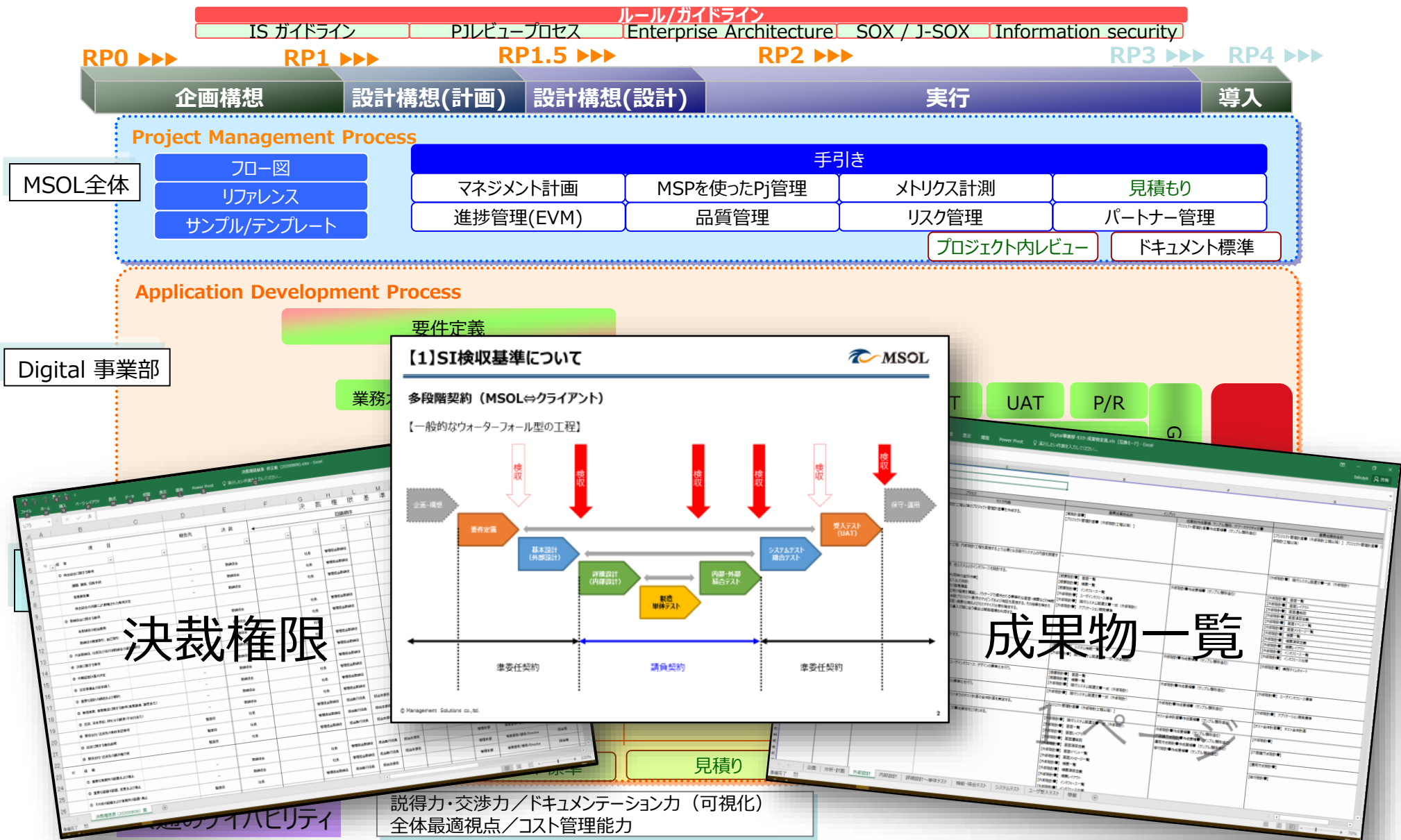
MSOL Digital

ウォーターフォール型開発

要件定義支援／業務設計支援

移行設計支援／テスト計画実行支援

システム運用設計支援

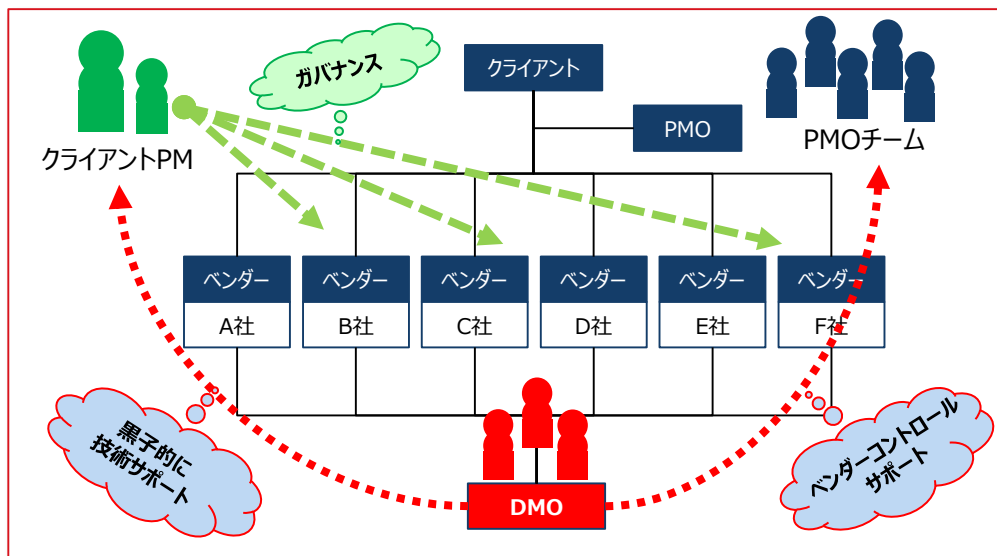


実績例（大手GMS系本部基幹システム再構築PGM 運用設計支援）

【背景】

- ✓ フルスクラッチの初期構築から延べ30年以上経過し継ぎはぎだらけ（複雑化 & 肥大化）の基幹システム再構築。
- ✓ 大手ベンダー1社に依存した開発・運用による運用費が莫大に膨れ上がっている。（1社依存からの脱却）
- ✓ 商流のないベンダーへ現行ベンダーから直接移管（大手ベンダー6社）
- ✓ クライアント社員に大規模プログラムマネジメント経験者やSI有識者不在でベンダーコントロール不能。

【役割と成果】



期間

半年（実行中）

役割

- ✓ 運用設計統括チーム立ち上げ支援
 - 運用設計計画策定
 - 運用設計統括体制の構築
 - 定例MTGの運営リード
- ✓ SLR作成支援
 - サービスメニュー・役割分担作成
 - SLR作成・発行
 - SLA案と取り纏め、評価
 - 運用見積り精査・各社調整
- ✓ 運用移行設計支援
 - 運用移行方針・計画作成
- ✓ 運用テスト方針・計画策定支援

成果

- ✓ クライアントの黒子となってベンダーコントロールを支援することによりクライアントガバナンスの回復。
- ✓ SLR発行と見積り精査、評価の可視化により過剰な運用費のスムーズな削減（調整）を実現。
- ✓ ベンダーの言いなりになっていた事に気づいていなかったクライアントの意識改革。
- ✓ 運用移行方針、運用テスト方針・計画策定により、進捗状況の可視化・把握が容易になり混乱が回復。



MSOL Digital

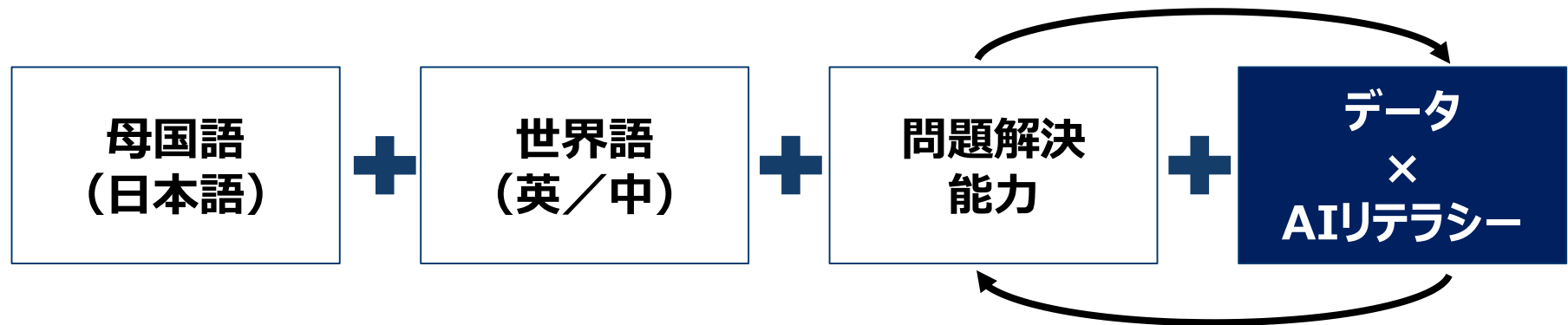
データサイエンスソリューション

AI 研修

予測系 AI / 認識系 AI

会話系 AI / 実行系 AI

データアノテーション



- 明確に考えを表現し、伝え、議論することができる
- 文章や相手の言葉を正しく理解できる

- 同左
- タイムリーな情報収集能力
- 言うべきことを敬意をもつて的確に伝える力

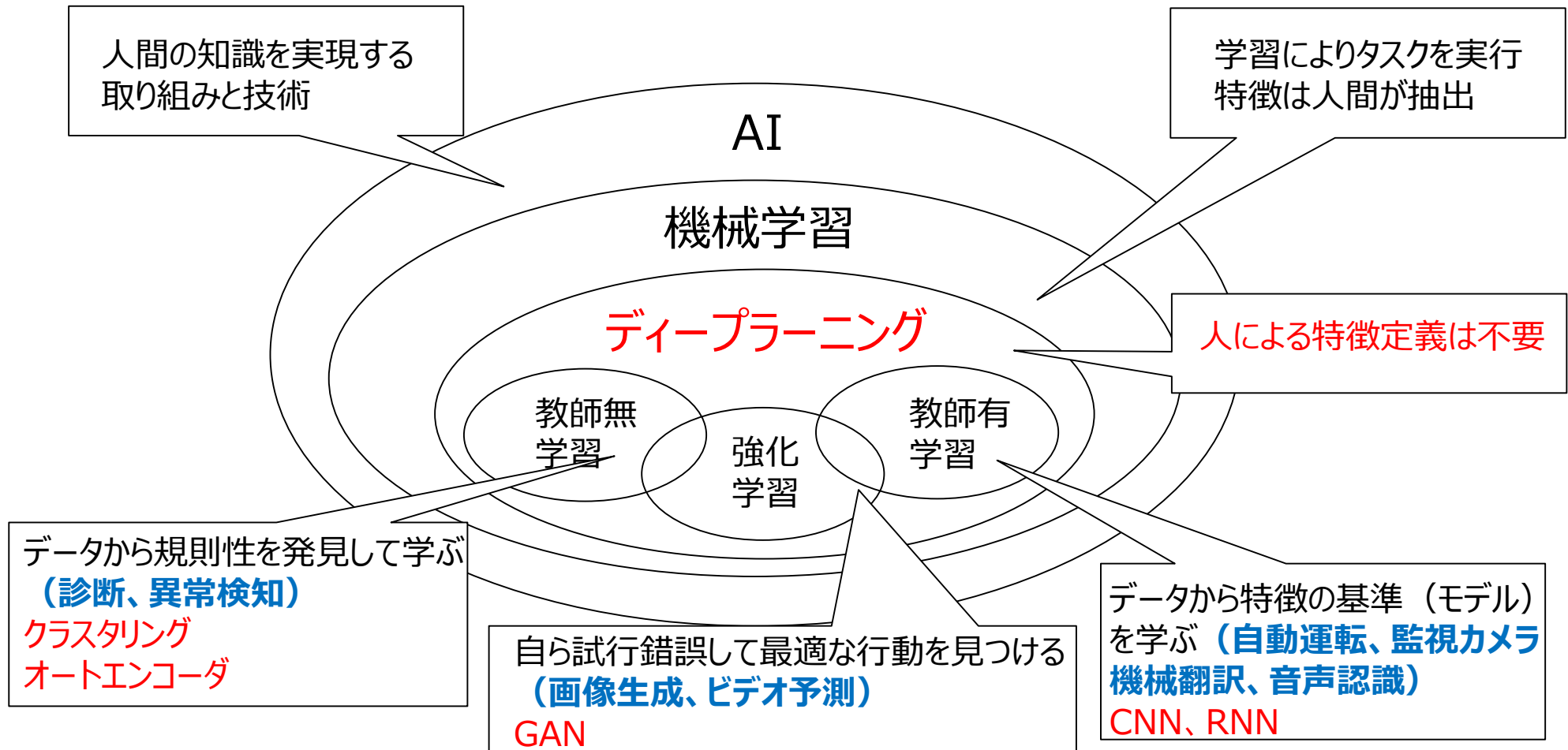
- 問題設定力
- MECEに切り分け整理する力
- So Whatを繰り返し意味合いを出す力
- 以上を踏まえ、実際に結果につなげる力

- 分析的／データドリブンな思考力と基本的な知見
- 数量的分析力
- 統計的素養
- 情報科学の基本
- データエンジニアリングの基本

AI、機械学習、ディープラーニングとは何か？

AIを一言でいうと、「特徴づかみの名人」

今できることは、「画像認識、自然言語処理、音声認識」



What : どんなAI ?

どんなAI ? : 社内問い合わせでの対応工数を減らし、社員満足度もあげる

AIができること

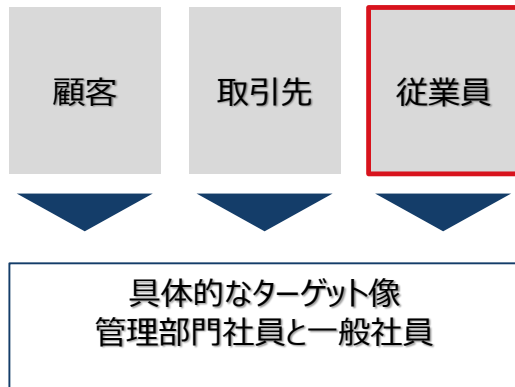
・社内管理部門への問い合わせの代行とナレッジの蓄積



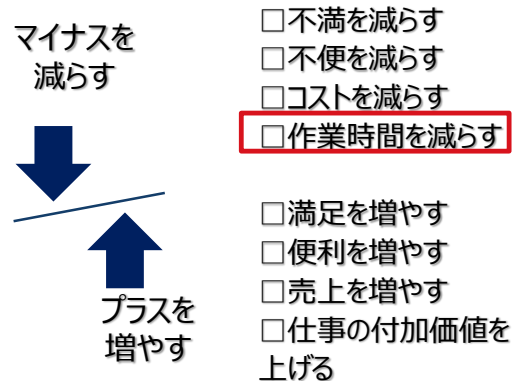
AIによって解決されること

・社内問い合わせを自動化し、対応スピードをあげる

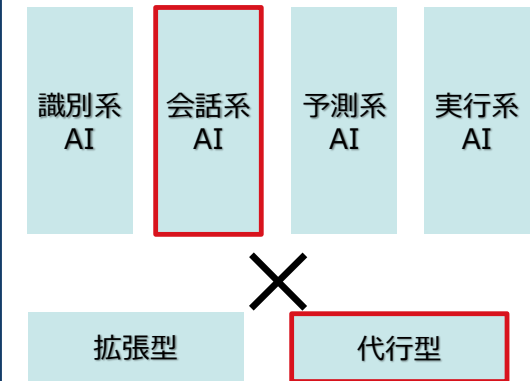
WHO : 誰のためのAI ?



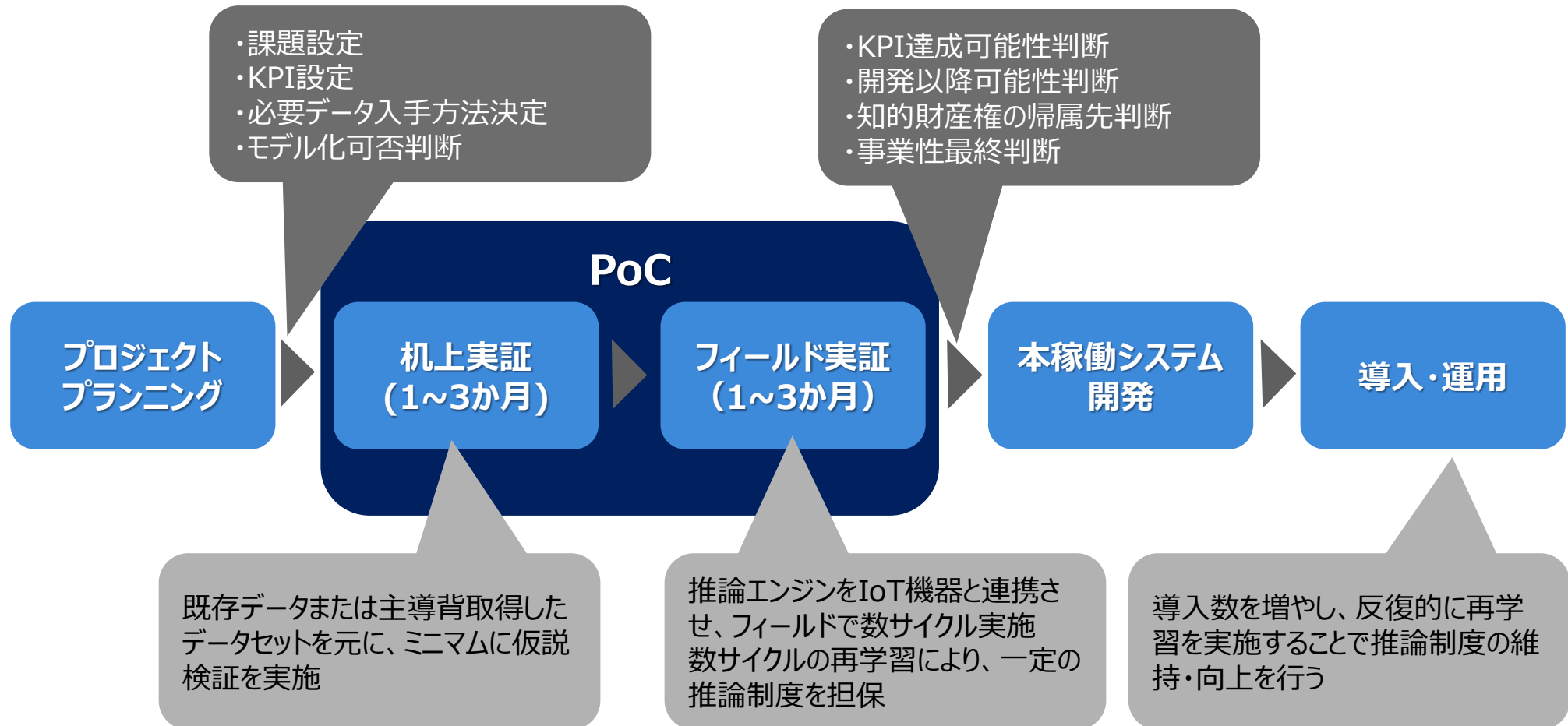
WHY : なぜAIが必要 ?



WHICH : どのタイプのAI ?



- AIプロジェクトの計画立案の際には、「プロジェクトプランニング」⇒「PoC（机上実証⇒フィールド実証）」⇒「製品開発」⇒「導入運用」という段階を経るのが有用



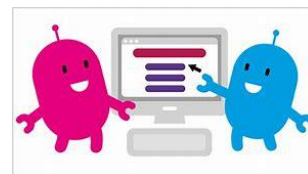
✓ Chatbot,RPA（比較的短期間で実用化）

- 社内ヘルプデスクでの**ChatBot**の活用（RASのPasswordリセットなど）
- RPAによる社内各種間接業務の自動化



✓ 画像認識（MS技術と独自技術などを活用、プロトタイピング）

- 社員健康管理用アプリ（料理画像認識、カロリー・栄養解析技術）
- 出退勤、施設入退出用システム（顔画像認識技術）



✓ 音声認識、音声解析、意味解析などの技術はMSの技術が先行

- MSなどの技術でPOCを行い、具体的なアプリケーションを企画検討

「DXアジャイルでは従来のウォーターフォール型開発とは異なる、評価軸、アジャイル教育（スキル、メンタリティ）、アジャイル型での役割定義、パートナー契約が必要。」



MSOL Digital

ERP 移行・運用

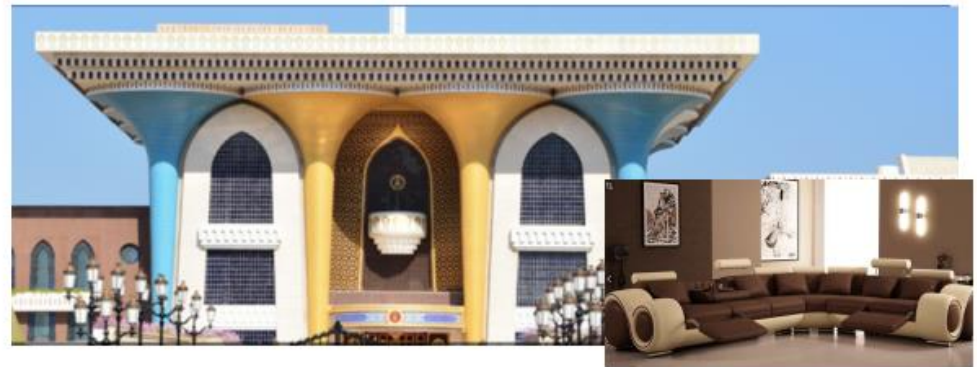
SAP ByD 導入コンサル・SI
SAP HANA 導入アセスメント

S/4H 3 Transition Scenarios

System Conversion



New Implementation



Selective Data Transition

Legend



ERP/non-SAP



S/4 HANA



Historical Data/Processes



New Data/Processes



© 2019 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved. | PUBLIC

3

SAP移行ソリューション SAP移行アセスメント&POC

MSOL Assessment Service

Execution Case

Information
Collection

Assessment

Proof of Concept

Assessment/PoC PMO実行支援

SAP ECCR3に関する概況
調査ロードマップ策定

必要情報の可視化
業務プロセスの可視化
既存システムの可視化

SAP ECCR3移行の方向性
策定導入オプションの絞り込み

SAP ECCR3の活用
状況に関する情報収集

SAP ECCR3移行に関する
業務・プロセス・システム・
情報の評価、課題抽出

SAP ECCR3移行に関する
課題事項の検証

SAP ECCR3移行に関する
予算／期間の概要把握

診断ツールを活用した
SAP ECCR3移行に伴う
影響度合いの評価

機能面の検証による
追加機能導入計画策定

SAP ECCR3移行に関する
概算予算の検討

最終的な導入計画
策定による予算決定

ProEver

MSOL アセスメント・ナレッジ

MSOL ERP移行診断ツール

MSOL + SAP Introduction Consultant

【Case1】
SAP ECCR3の環境を全て
HANAへConversion

【Case2】
SAP ECCR3の環境を全て
HANA上でRebuild

【Case3】
SAP ECCR3の一部(FI/CO)を
HANAでRebuild、一部
(SD/MM)をConversion

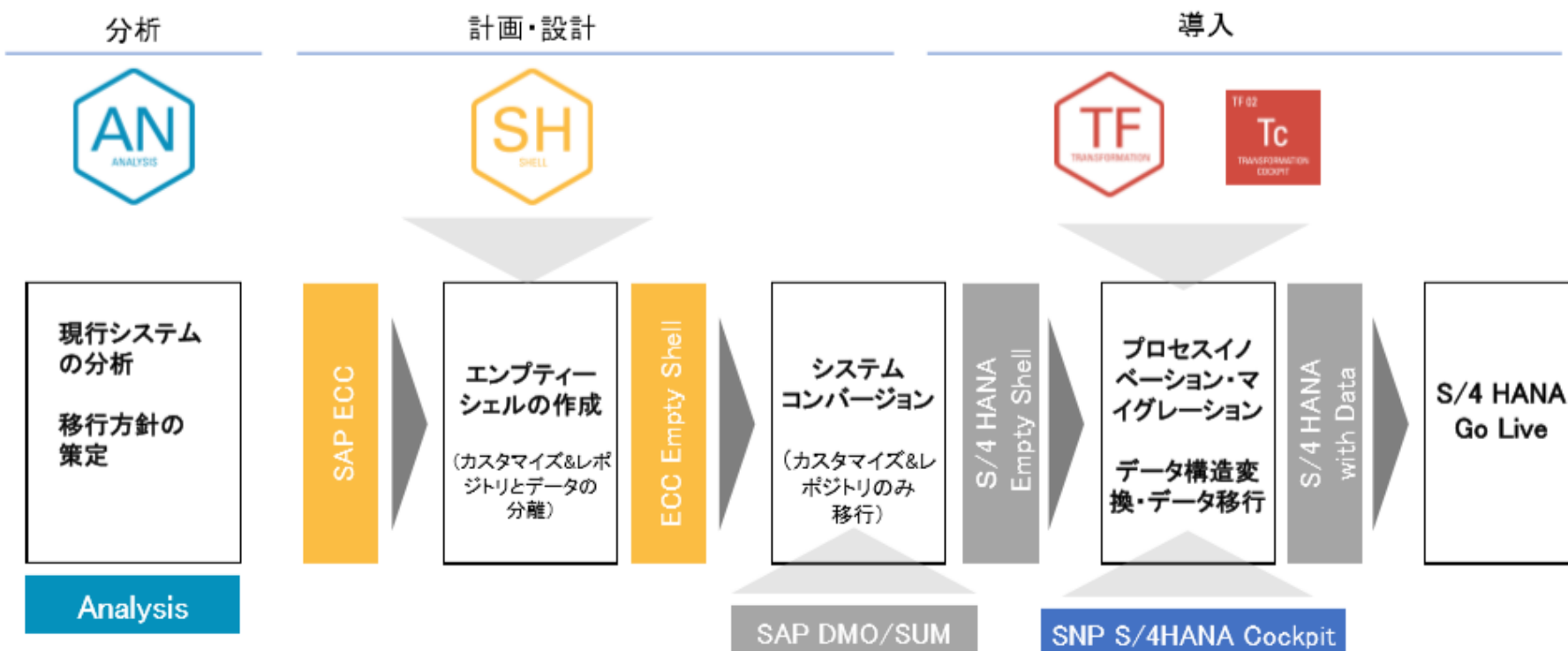
【Case4】
SAP ECCR3の環境を全て
他のソリューションでRebulid

【Case5】
SAP ECCR3の環境をHANAと
他のソリューションでRebulid若し
くは、Conversion

システムインテグレーター

BLUEFIELD™

CrystalBridge® Platformを活用したS/4 HANA移行のアプローチ





MSOL Digital

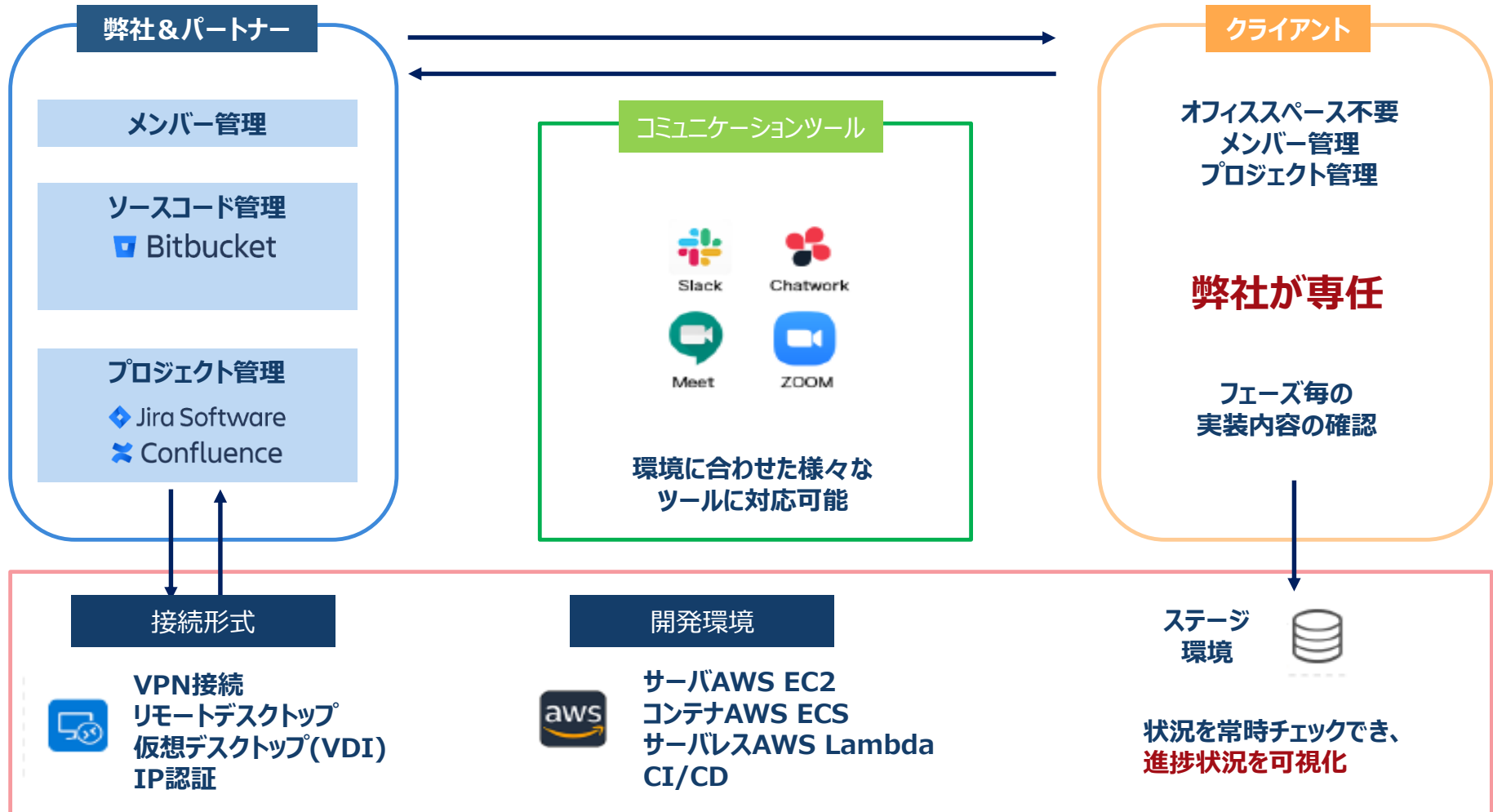
クラウド移行・運用

システム監査

クラウド移行・運用

リモート開発環境イメージ

WFモデル、アジャイルモデル等、クライアントのニーズに合わせた柔軟な提案が可能。開発フェーズにとどまらず、企画立案含め上流工程からの提案もさせていただきます。



技術スタック

インフラ : AWS

OS : AmazonLinux、Ubuntu、CentOS

サーバサイド : PHP、Python

FW : Laravel、Django

フロントエンド : JavaScript(Vue.js)

DB : PostgreSQL

その他開発ツール : Docker、Vagrant、Ansible、
Fabric、Deployer、git

コミュニケーションツール : Slack、RingCentral、
Asana

技術スタック

インフラ : プライベートクラウド

OS : CentOS

サーバサイド1 : Java

FW1 : Spring Boot

サーバサイド2 : Python

FW2 : Django

フロントエンド : JavaScript(Node.js)

DB : MySQL、Redis

その他開発ツール : Elasticsearch、Logstash、
kibana、Testrail、Drone、docker

コミュニケーションツール : Slack、JIRA、
Confluence、Zoom

1. クラウド型学習管理プラットフォーム 〈対象業務〉 利用企業160社超のeラーニングシステムの品質評価業務 〈詳細〉 上記のシステム買収にあたり、システムの品質及びシステム受入における体制構築 〈担当〉 調査・分析	1. クラウド型学習管理プラットフォーム 〈開発環境〉 OS : Linux 言語 : Golang DB : CosmosFB、SQL その他 : Azure 〈人月単価〉 コンサル : 180万円 〈人月工数〉 3人月
2. 電子カルテ基幹システム開発 〈対象業務〉 患者管理、売上/会計管理、スケジュール管理等、多岐にわたる機能を統合するシステム開発業務 〈詳細〉 当時の開発ベンダーのシステム品質が悪く、リファクタリングの依頼を受け、開発及び保守運用を実施。並行して新機能の追加も担当 〈担当業務〉 要件定義、基本設計、詳細設計、開発、テスト、運用	2. 電子カルテ基幹システム開発 〈開発環境〉 OS : Linux 言語 : Python DB : PostgreSQL FW : Django、Vue.js その他 : AWS、Nginx、Docker、Clouderay、git 〈人月単価〉 PM : 180万円 PL : 150万円 PG : 100万円 〈人月工数〉 36人月
3. 大規模ソーシャルゲーム開発 〈対象業務〉 現在、運用しているソーシャルゲームのシステム開発業務 〈詳細〉 スピードを意識しリリース先行型で開発、運用してきたゲームだが、現状の人財スキル不足… 〈担当業務〉 基本設計、詳細設計、テスト、運用	3. 大規模ソーシャルゲーム開発 〈開発環境〉 OS : Linux 言語 : PHP DB : MySQL FW : 独自 その他 : Redis、memcached、Git、xcode、NetBeans 〈人月単価〉 PM:180万、PG:100万円 〈人月工数〉 24人月



MSOL Digital

リスク&コスト削減支援

間接材コスト削減

セキュリティ診断・CISO代行

プロフェッショナルCISOサービスの全体像

セキュリティに係る経営者のお悩みに対して3つのサービスを強力にサポート

悩み①

社内にセキュリティリスクを経営視点で判断できる人材がない。

▶ 上場企業CISO経験者を**プロのCISOとして派遣**します。



悩み②

セキュリティ施策を推進・実行する人材が社内に不足している。

▶ セキュリティコンサルタントが**計画立案から実行までサポート**します。



悩み③

セキュリティ施策の進捗や導入効果がイマイチ見えない。

▶ サイバーセキュリティ経営ガイドラインを活用して**対策を見える化**します。



プロフェッショナルCISOサービス（メニュー）

リスク管理体制の構築

- セキュリティ規程/ガイドライン策定
- セキュリティ管理体制構築
- セキュリティ人材育成

リスクの特定と対策の実践

- セキュリティリスクアセスメント
- セキュリティブランドデザイン策定
- セキュリティ計画策定
- セキュリティ対策実行
- セキュリティ監査プロセス構築
- セキュリティレビュープロセス構築

インシデントに備えた体制構築

- インシデントレスポンス体制構築
- セキュリティBCP構築

サプライチェーンのセキュリティ

- サプライチェーンセキュリティ構築

関係者とのコミュニケーション

- セキュリティ情報収集



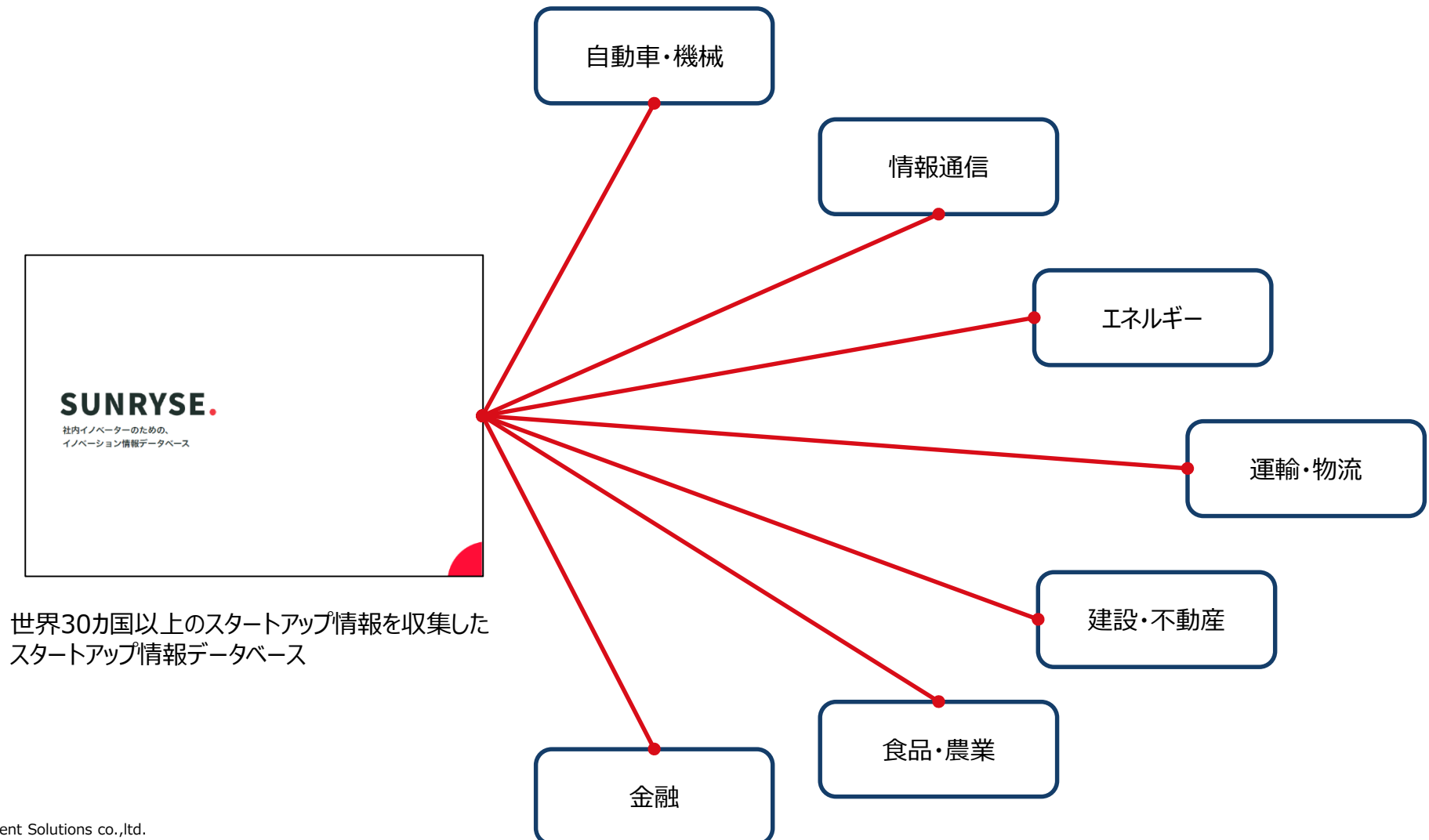
MSOL Digital

新規事業立ち上げ & PoC 支援

アイディエーション

PoC

「SUNRYSE.」(世界中のまだ知られていないスタートアップ、研究開発内容のリーサーチ集)をベースに、社内イノベーターのためにPoCのプランニング、実行支援を行うサービスです。





SUNRYSE.

特徴

- 世界30カ国以上のスタートアップ情報をリサーチ
- 毎日10件以上の新規情報をお届け
- 競合との差異・文化的背景などのコンテキスト分析
- 日本企業にとってのヒントを抽出

機能

業界タグ

「マーケティング」「物流」など、どのような業界に関連のあるスタートアップ・技術であるかをタグ打ちし、検索可能に。

技術タグ

「画像認識」「位置情報」など、どのような技術を活用したスタートアップ・技術であるかをタグ打ちし、検索可能に。

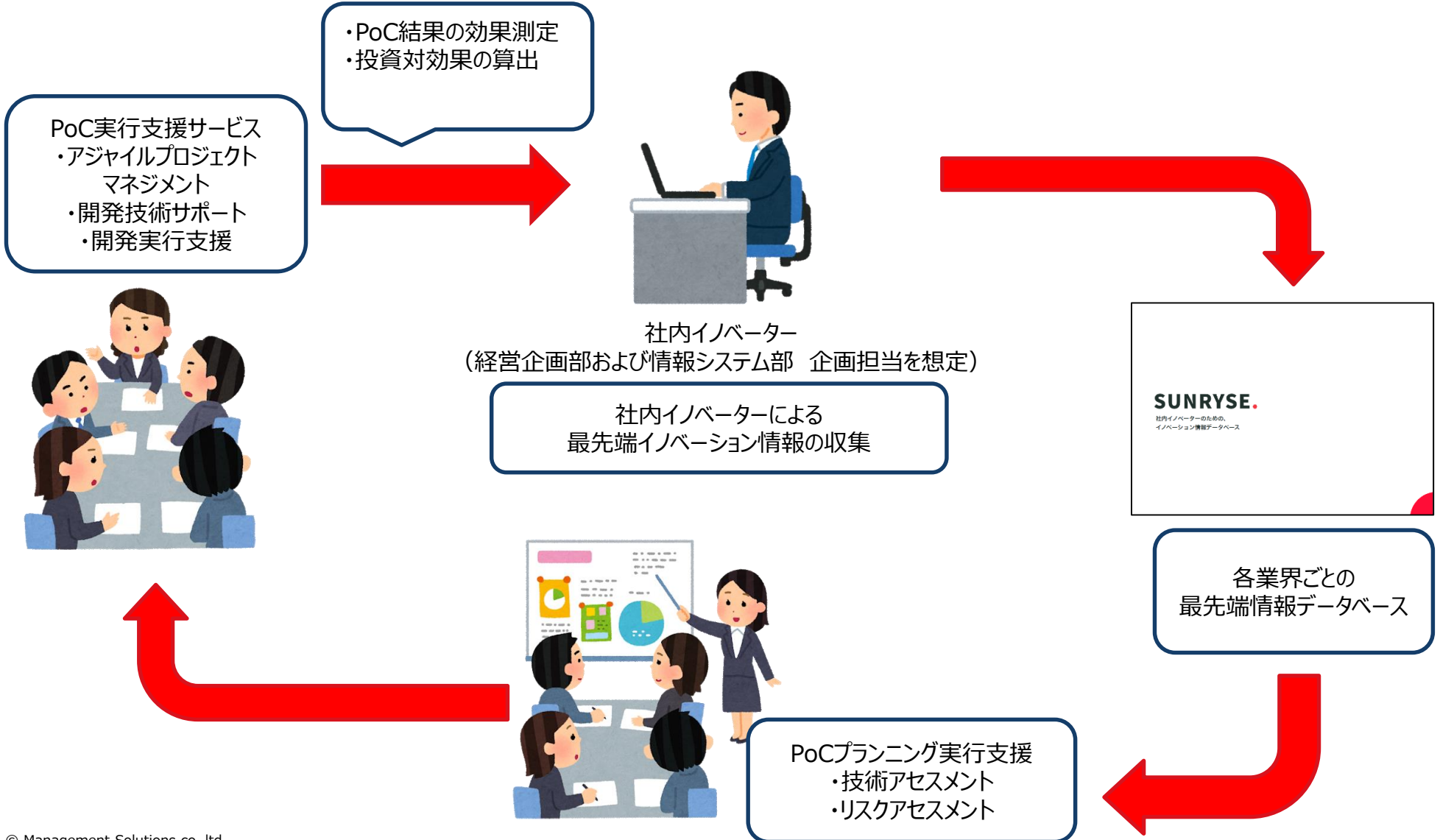
コメント

チーム内でディスカッションできるコメント機能

ボード

自由なテーマでまとめが作成できるボード機能

貴社内における「イノベーションサイクル」の導入・定着化を実現します。



DX for Teamsの展開

DX SOLUTIONS OVERVIEW

当社のDXソリューションの概観

DX for Teams

組織DXの実行

DXの目的とフォーカスを明確にする立ち上がりフェーズのサポートから、
DX人材の育成と獲得、DX組織の構築、
プロダクトやツールの開発をハンズオン。
徹底的な組織のDXをサポート

SUNRYSE.

世界のイノベーション情報プラットフォーム

最新事例やケーススタディに毎日触れることで、
組織全体のリテラシーと意識を改革し、
議論やアイデアの生まれる組織への変や
オープンイノベーションをサポート。

SERVICE

サービス内容

デジタル組織 / エンジニア組織をつくり、
継続的に採用・拡大できる体制を構築することで、
DXにまつわる根本的な課題を解決する。

Before

経営層からの期待効果の大方針はあるが
DX施策の効果(KPI)が明確に設定されていない



DX施策の企画検討は進んでいるが、
現場への展開計画立案まで至っていない



各拠点で正しいDX施策の
評価が行われていない為
経営層に対して
適切な報告が
出来ていない



「あたりまえ」のことを「あたりまえ」に行えるように伴走支援

Action

計画の策定



KPI及び
評価グループの
見直し



評価・展開方針の
説明・合意



各拠点リーダーへ
計画の導入・定着支援



After

計画を策定することにより
DX施策を推進する上での
人員配置のアンバランスが
明らかになり、
適切な人員配置へ！



KPIが整理され、経営層へ
分かりやすい報告が
可能に！



KPIのグループ化

POCとして、
現場への展開へ至り
実施結果を伴った報告へ！



仮説検証サイクルが確立し
DX推進力に！



マネジメントを、世界を動かすエンジンに。